

# ちむ美らさ

第84号

発行: 北部農林水産振興センター  
農業改良普及課

住所: 沖縄県名護市大南1-13-11

電話: 0980-52-2752

FAX: 0980-51-1013



9~10月は「秋の農作業安全運動重点期間」です。

重点推進テーマ:

「一人一人の安全意識と周囲からの

「声かけ」から始まる農作業の事故防止」!

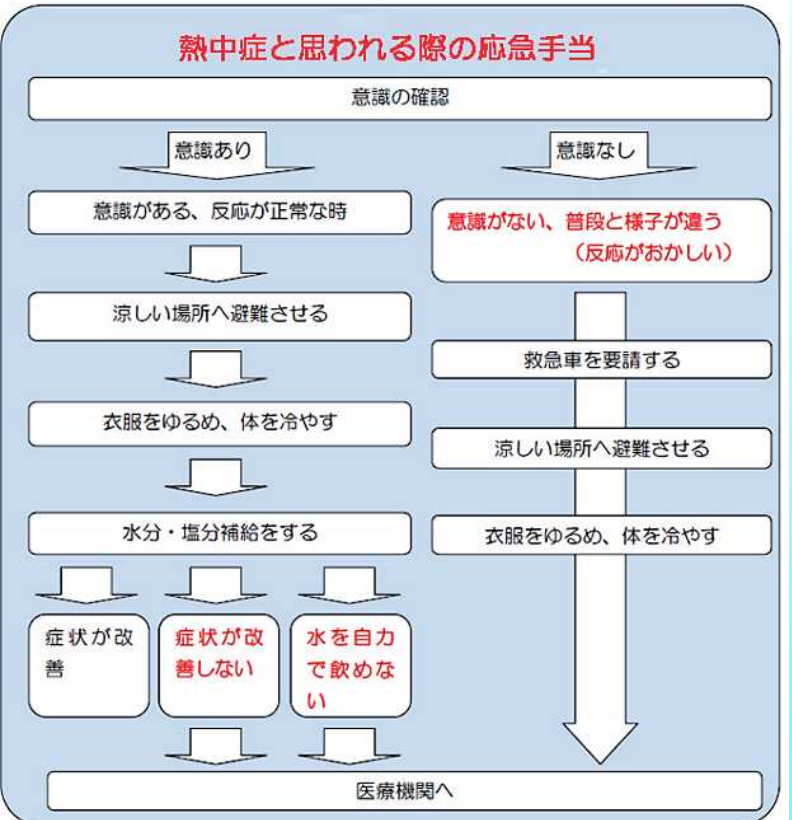
目次

- 1P・農作業安全運動
- 2P・技術情報(露地トウガン)
- 3P・技術情報(カボチャ)
- ・技術情報(青ドラセナ)
- 4-5P・技術情報(マンゴー)
- 6P・マンゴーコンテスト
- ・地域農業振興について

農作業は小さなミスが死亡事故につながります!



こんな症状は、「熱中症」を疑ってください。	重症度
めまい・立ちくらみ・筋肉痛・大量に汗をかく	軽
頭痛・吐き気・体がだるい・力が入らない	↓
けいれん・体温が高い・呼びかけても反応が悪い・まっすぐ走れない、歩けない・意識がない	重



熱中症にも、まだまだ注意!

(担当: 外間)

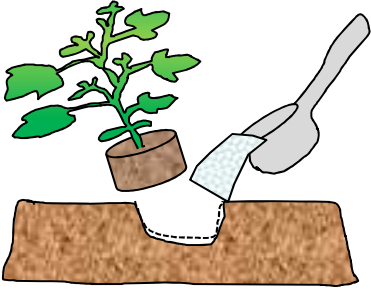
バックナンバーはこちら→ <http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/norin-hoku-nokai/timutyurasa.html>  
または右上QRコードでご覧になれます。

# 露地とうがんの植付けについて

露地とうがんの植付け時期です。とうがん植付けの基本を再度確認しましょう。

①障壁植物(ソルゴー等)の播種は早めに行いましょう。障壁植物を設置することでアブラムシの侵入防止、台風時の風対策効果が期待できます。播種後、降雨が少なければ灌水を行うと生育がよくなります。

②マルチを張る前に十分に灌水しましょう。植付け後はやや少なめにと、根張りがよくなり、強い株作りができます。その後は降水を見ながら灌水しましょう。



③植付け時には粒剤を利用しましょう。粒剤を利用することでアザミウマやアブラムシの発生を抑えることができます。植付けは深植えにならないように気をつけましょう。

④高温により葉が焼けることがあるので、苗の周りのマルチ上にも敷き草をしましょう。

⑤植付け後は手灌水を行いましょう。できればリン安液肥300倍を午前中に灌注しましょう。



(ヨトウは葉裏に多い:写真)

アブラナ科、キク科雑草にはアブラムシが多いので、植付け前に畑周辺の雑草を除去しましょう。アザミウマに被害され黒変した新芽や幼果を発見したら早めに防除しましょう。肥料切れによる成り疲れはアザミウマ被害を助長するので追肥は遅れないようにしましょう。



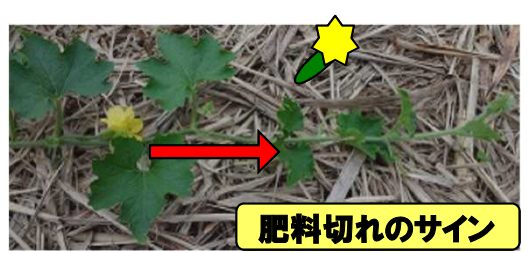
樹勢維持のため、奇形果は早めに除去しましょう。



黒変した幼果



アザミウマ被害果



肥料切れのサイン

肥料切れすると雌花の位置が先端に近づいてくる (担当:嘉手苺)





## 【カボチャのウイルス病対策】

昨年北部全域で多発したカボチャのウイルス病はアブラムシによって伝染する事が多い病気です。一度感染すると治りません！そのため、予防が最も重要になります。

表面に凹凸が出来る。



葉にモザイク状の症状が出る。



初期のウイルス病対策予防として以下を実施しましょう。

- ・植え付け・播種時には**登録のある粒剤を必ず使用する。**
- ・ほ場内に生えている**雑草はアブラムシの発生源**になるため除去。
- ・侵入防止の為、周辺を防風ネット・ソルゴーで囲むと被害が軽減する事もあります。

ほ場内でウイルス病の発生を確認した場合・・・

- ・罹病株の除去およびほ場の外へ持ち出しましょう。
- ・登録のある殺虫剤の散布をおこないましょう。
- ・罹病株に触れたハサミや器具は消毒し、**同じハサミで健全な株を触らない**ようにしましょう。

(担当: 桃原)

## 青ドラセナの雨よけ栽培管理

### 9月以降の管理のポイント

高温・多湿の条件下では、右記の病気の発生が多くなるため、殺菌剤で予防・防除を行う。

炭そ病



疫病



害虫が周年発生するため、定期防除を心がけ、多発生の場合は薬剤のローテーション散布を行う。

スリップス類



ハダニ類



### ビニール被覆後の管理のポイント



寒やけ等が軽減される

○乾燥条件下ではハダニ類が多発生するため、適宜かん水を心がける。

○10～11月と3月以降は高温による葉焼け防止のため、こまめなビニールの開閉を心がける。

(担当: 上原)

# マンゴーの収穫後の管理について

## 1 十分なかん水と早めのお礼肥で樹勢回復を！

収穫後の樹勢回復が遅いと次年度の収量に大きく影響します。**お礼肥は収穫が8割終わった時点で速やかに行い**、さらに**十分なかん水**をして、早めの樹勢回復を図りましょう。

また、収穫後は**速やかにビニールを除去**しましょう。それにより高温対策に加えて、雨水がかん水代わりになったり、害虫増加を抑制する等の効果が期待出来ます。

樹の状態	肥料の種類	3年木	4年木	5年木以上
8割収穫終了	マンゴー専用1号	80kg(4kg)	120kg(6kg)	140kg(7kg)

10a(300坪)当たり施肥量 ( )内は窒素含量

(施用例)

3年木	4年木	5年木以上
2kg	3kg	3.5kg

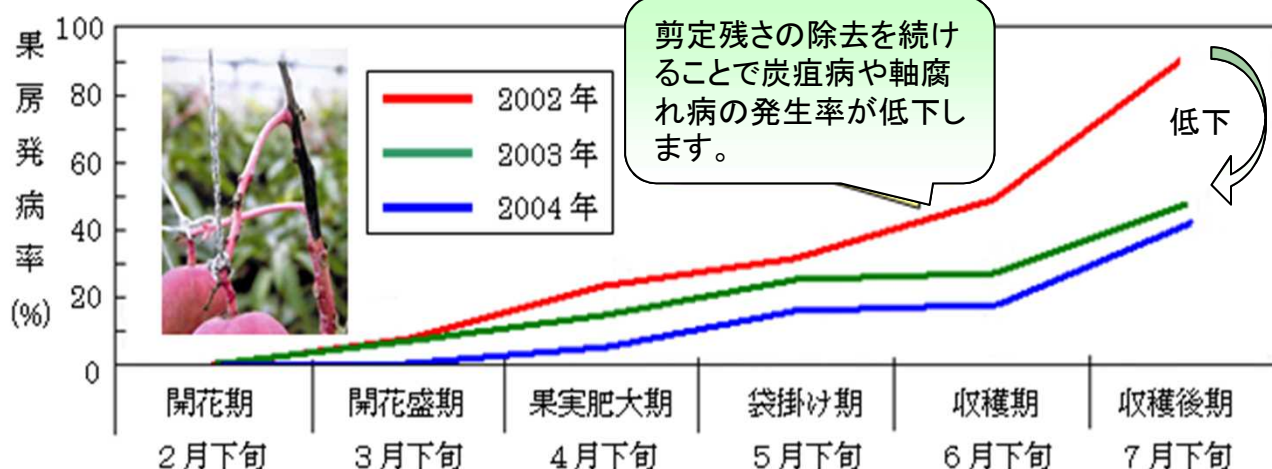
10aで40樹植え付けの場合  
1樹あたりマンゴー専用肥料の  
施用量



## 2 次年度の収量確保のため収穫後の新芽は死守する

光合成能力の高い**新葉を多く確保**することは、早期樹勢回復に繋がり、開花率UPが期待出来ます。逆に収穫後に発生する新芽が害虫にやられると、次年度の収量に大きく影響する可能性があります。

収穫後の新芽発生時期には、アザミウマや炭そ病等の病害虫が多く発生します。花芽分化期までは剪定残さの片付け、農薬のローテーション散布等、**徹底して病害虫防除**に努めましょう。





### 3 収穫後の枝管理は樹全体のバランスを整える事が重要

収穫後は**果軸のみ**の剪定が基本です。切り戻し剪定はせずに、どうしても邪魔な枝は間引き剪定をしましょう。

節の上(果軸のみ)から剪定→

1節の長さ20cm以上  
1節の葉数15枚以上

①発生した新芽が強ければ、**緑化後**に2~3本して整枝



新芽を多くし養分を分散させる



平均的な強さの枝を2、3本残す

②発生した新芽が弱ければ、**緑化前**に1本に絞って整枝



養分を消費する前に整枝



最も生育の良い枝1本に絞る

**最終的に全ての結果枝の生育を揃えるイメージ**

#### 結果枝育成の目安

収穫後は2節伸ばす  
1節の長さ20cm~30cm  
枝の太さ5mm~10mm  
1節の葉数15枚以上  
枝の総数は200本~300本

#### 未着果枝の剪定について

基本的に、未着果枝は無剪定の方が次年度の開花率が高まります。混み合ったり、間延びしている枝など、どうしても邪魔な未着果枝は、切り戻し剪定はせずに、間引き剪定をして、今後の枝作りの準備をしておきましょう。

しかし、収穫後の樹勢が弱った時期に、たくさん間引き剪定をすると樹勢回復に影響します。未着果枝が多い樹については、剪定量を考慮して下さい。

# 沖縄県マンゴーコンテスト受賞者紹介

毎年開催されているマンゴーコンテストは今年で10回目となりました。北部地区からの出展数は県内最多の23点となり、多くのベテラン勢の中、2人の若手生産者が見事受賞しました。



## 優秀賞



大城大輔(35)  
(サンライズファーム)  
宜野座村  
栽培歴11年

栽培では特に樹作りに力を入れています。



## 優良賞



喜屋武和徳(39)  
今帰仁村  
栽培歴9年

特に減農薬を意識して栽培に取り組んでいます。



(担当:長浜)

## 国頭村で農業振興の取組みを開始!

～地域農業振興総合指導事業～

今年度から3年間の計画で国頭村辺野喜地区において『地域農業振興総合指導事業』を開始しました。対象品目は、拠点産地に認定されているタンカンです。今年度は、生産者へのアンケート調査から実施しました。その結果を踏まえて、推進会議ではその対策のための活動計画を関係者の皆さんで検討しました。

また、果樹農家の高齢化も進んでいる中で、労働作業の省力化や担い手確保についても、今後検討していきます。

### (主な活動計画)

- ・展示ほの設置
  - SS機導入による薬剤散布作業の省力化
  - 省力・低コスト防鳥網設置技術の検討
- ・栽培講習会
  - 施肥および土壌改良について
  - 現地実習(摘果、収穫芽摘み、剪定)
- ・リーダーの育成
  - 県外・県内の優良事例調査
- ・特産品の検討 等々



推進会議



スピードスプレー機(SS機)

(担当:具志)